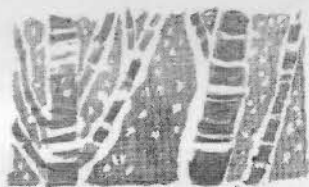




LEONTODO

N-ro 30



HOKKAIDO ESPERANTISTA LIGO

Dec. 1963

HEL 青年部 発 足

9月22日、午前9時HEL青年部結成委員会を開催した。

会場は、S-ro 高橋の勤務先小樽海員学校。出席者は苫小牧よりS-ro Hosida, f-ino Kitabatake, S-ro Kageura 室蘭よりS-ro Muraki, 札幌よりS-ro Goto 地元小樽からS-ro Sato 他 5f-inoj.

下記事項を決定した。

- (1) 明年室蘭開催のHEL-Kongreso においてHEL会則一部改正の上、HEL青年部を設置する。
- (2) HEL青年部規約を別記の通り定める。
- (3) HEL青年部会費1963年度分、HEL会費以外に100円追徴する。
(日本エスベランテスト青年組織拠出金)
- (4) 本年度事業計画を次の通り実施する。
 - i) 強化合宿を年末年始にわたり実施する。
 - ii) 平和友好祭に参加する。
- (5) 役員、次の通り

HEL青年部 委 員	(小 樽)	佐 藤, 新 谷
"	(札 幌)	ゴト一, 永 田, 由 良
"	(苫小牧)	北島隆, 影 浦,
"	(室 蘭)	村 木, 山 田
"	(由 仁)	泉 谷
"	(穂 別)	塩 谷
委 員 長	村 木 昭 徳	
専務局長	佐 藤 不 二 雄	
副委員長	影 浦	

HEL 青年部規約

(総 則)

1. この組織を J.F. HEL (Junulara Fakoo de Hokkaido Esperantista Ligo) という。又同時に J.E.J.O. の北海道支部とする)
2. この組織の事務所を HEL におく。

(目 的)

3. J.E.J.O. 規約 4, 5 に準ずる。
 - (4) この組織はエスペラント運動の推進を目的とし、とくに青年の行動力を運動の中に展開することを目標とする。
 - (5) 上記の目的を達成するためにつきの事業を行う。
 - イ. 機関誌の発行
 - ロ. 日本青年エスペラント大会開催
 - ハ. 世界各国の青年エスペラント機関との交流
 - ニ. その他目的達成に必要なこと。

(会 員)

4. この組織は HEL 会員の中 15-35 才までのものによつて構成する。

(会 費)

5. 会費は別に徴収する。

(機 関)

6. この組織につきの機関をおく。
 - イ. 委員会
 - ロ. 事務局
7. 委員会は次のことを行う。
 - イ. 事業計画
 - ロ. 役員の選出
 - ハ. 規約の変更
 - ニ. その他必要なこと
8. 委員会は各地区から、下記人数の割合で選出された委員によつて構成される。

会員	2- 5名の地区	委員	1名
"	6-10	"	" 2 "
"	11-15	"	" 3 "
"	16-20	"	" 4 "

9. 委員会は委員の半数以上の出席で開かれ、議決は多数決による。
10. 委員長はこの組織の代表であり、業務を統括し、つぎの場合に委員会を招集する。
 - イ. 委員長が必要と認めた場合
 - ロ. 1地区以上の要求があつた場合
11. 副委員長は委員長を補佐し、事故ある場合委員長の任務を代行する。
12. 事務局は委員会の決定に従い、日常業務を行い、年1回の事業報告を行う。

(附 則)

13. この規約は1963年10月1日より発効する。

H. E. L. 会費を払って下さい

年末も近づきました。ボーナス月でもありますし、H. E. L. 年次は1月から新年度となりますので年末までにお払いこみ下さい。

できるだけ地区でまとめ事務局へ

会 費 年 300 円

J. F. HBL 400 円

事務局 小樽市桜町307 高橋達治

才 二 回 強 化 合 宿
小 樽 二 朝 里 で

第2回強化合宿を下記の通り開催致します。多数御参加下さい。

記

1. 日 時 昭和39年1月2日正午より
1月5日 (日曜) 正午まで3日間
2. 会 場 小樽市朝里温泉ヘルスセンター
3. 費 用 宿泊費 400円×3日=1200円
食費約 400円×3日=約1200円

テキスト等 100円

計 約 2500円

4. 要 領 申込により初級（学習歴 1年程度）と中級以上（上記以上）に
わける。

それぞれのテキストにより指導をうける。しかし3日間エスベ
ラント及び身振り等により、日本語等は用いないこととする。

原則として3日間全日程参加をのぞむ。

5. 申 込 H E L事務局（小樽市桜町307）宛

12月20日迄に別紙申込用紙で申込みこと。

50-a. J. K. 参 加 印 象 記

星 田 淳

第50回日本エスベラント大会は8月24-26日、吹田市関西大学に於い
て行われた。50回という記念大会、Junulara Jaro にちなんでの多彩な
Junulara Organizo による催し、ステレオ方式とも称された並行プログラ
ム……………等主催者側の意気込大きく、期待されたがほぼ期待に近いものがあ
つた。私はKLEGに対し88点を与えたが、期待の方が少し大きすぎた故か、
まつばきくのぶ氏は100点を与えていた。期待過大といえば、北海道からの
参加者数予想は800とか1000とかいうのが来たが関東からはぐつと辛
く500とか400とかがあつたというのも面白い。

Varmeco : いつもながら道産子が本州のKongreso に出て身にこたえる
のが暑さだが、一昨年の富山に比べれば、それ程でもなかつた感じ。第二日
の雷雨は特に *refreska efekto* があつた。

Akcepta kaj Informa Laboro

この点は水際立っていた。申込順に番号打つた氏名住所其の他のうち、氏名
住所のところはリコピーにとつて、封筒にはつておき参加者に渡していく。
Numero を忘れた人のためには、氏名アイウエオ順に整理した nomkartaro
を Informejo におき numero を教える。其場での参加申込者には、タイプでなく書類を整え

る……。あまり能率的にさつと終つて、呆気なかつたとの声もあつた位。

Saleno kaj Labor kunsido

幕がしまつたまま女声合唱が始まる。いよいよ開幕……と待つが幕があかず。ひとときあつて幕が女声合唱と共にあいた。さつきのは練習か?と思つたが実は幕引き係との連絡不充分で幕の開くのがおくれ、間が出来てしまつたとか。各地を代表する9人の女性(初めはJunaj Fraŭlinoj との話だつたがあいさつの中にMi estas eks-fraŭlino という言葉も出てきて爆笑。)

活動報告、表彰につゞいて、Festparolo は S-ro 竹内義一、力強く50年間の先輩の遺業をうけてま近い50-a U.K. に備えようとよびかけ、大会の雰囲気をもりあげた。

ESP. 歴2年の新入文学受賞者

小坂賞は松原言登彦氏、八木奨学金は加藤静一氏にわたつたが、新入文学賞の二木敏三氏は、まさに新人の名にふさわしかつた。早稲田の学生で、ESP 文学に没頭、堀辰雄の短篇の翻訳で受賞したが、その他翻訳ノートは山ほどあるとか。原作発表を目標にはげているがエスペラント歴は2年という。先輩後輩の somideanoj 奮起せよ。

Publika diskutado junulara

新しい試みの多かつた今大会の催しの中でも特に画期的なもの。ESP. による討論会というのは私にとつても初めてなのに、その Prezidanto をやらされたのだから自らそのソソウに今更あきれる。始まりがおくれ、次の写真撮影が迫り、その中で報告、討論、質疑応答……と進めようというのだから、結局時間切れで、最後は, resumo をなんとかデッチ上げてお茶を濁す。報告者は用意してきた事をすらすらしゃべることが出来るが、他の参加者は、それを理解し質疑討論するだけの訓練がまだ出来ていないと感じた。これは議長の私にしても同様である。

ジャン有馬、襲撃せず!

よびもの一つだつた映画「ジャン有馬の襲撃」は、定刻になつても関大映画部の映写技師が姿を見せず、やむなく中止となつた。大学当局に依頼し確認していなかつたため、連絡が行きとどいていなかつたためらしい。Bedaŭras!

曉の Fakkunsido

Junulara Jaro だけあつて、青年の意気さかん、中でも行動力に富む studenta fakunsido は、多くの懸案に議論つきず午前3時に及んだ。一方、Junulara Organizo の komitato も、ユースホテルのキャン（？）をすぎ、寝室に場を移し声をひそめて午前1時迄。

専門家ぞろいの Arta Festivalo

かつて Movado に「専門家になろう」という文が出て各方面から反響があつた。つまりマン然とたゞ ESP. をやるだけでなく、ESP. で私はこれをやるという分野をもつ、専門家になろうというわけ。其後関西では、この織にそつて、Hajkistoj, literaturistoj, 民話 tradukistoj はては、KLEG のダークダックスと称される Bando Euba 劇団 Trupo Nubo 迄出現。大会ではこの二つの専門家グループとウィーン帰りの歌手平井美沙子さんの独唱これはホントの専門家。どれもなかなか立派なもの、どこに出しても恥しくないものと云える。Trupo Nubo のは、せりふがさつぱりわからないという声もあつた。確かにあの早口のせりふはなれない人には聞きとりにくいものだつたが、あの位の早さで会話が出来るといふになれば ESP. 会話も一人前といつていいだろう。

Ekskurso -- Dankon, konduktistinoj!

26日、期待された奈良西の京の autobusekskursio 天気にめぐまれ、大和路の太陽はまぶしいばかり。法隆寺、唐招提寺、薬師寺では、この方面に造り深い S-ro 野島安太郎の説明に耳かたむける。途中バス中の説明は 奈良女子大の4人の samideaninoj による esp-aklarigo. 終り頃になるとさすがに覚えきれなかつたが、原宿朗読になつて、やや調子が落ちたが、ともかく、あれだけの説明は、全く御苦労さん、努力賞、敢斗賞ものだつた。千二百年前の繁栄をしのぶ奈良のみやこ、民族のふるさと大和盆地はたゞ tut-verda その中を行く我々のバスも en verda atmosfero まさに tut-verda tago であつた。

む す び

今年の大会は、50-a Jubilea Kongreso として関西連盟が全力あけてとりくんだけあつて、前ぶれ通りに多彩で内容豊富な行事が、多少の手ちがいとはともかく、Preparantoj, partoprenantoj の samideana ku-

nlaboro によつて進められた。J.E.J.O. (青年組織), J.E.L.S. (学生エスペラント連盟) の活動も各地で活潑化し、関西では文芸コンクール入賞の宮本氏らの文学活動、Bande Buba, Teatro Nubo 等の専門家の活動は、もうシロウトばなれした水準である。ふりかえつて我等の北海道は？ 地域的な差は全国にわたつてあるが、かなりの差を感じざるを得ない。が、ともかく、ESP. であれだけの事が、やれば出来るという事を知るだけでも、日本大会参加の意義は充分ある。50-a U.E. 参加希望のコメンツアントの方は、耳ならしのため、来年の東京での J.K. には参加されたがいいと思ひ。文芸コンクール入賞も、Teatro Nubo も一日にして成つたのではない。やれば出来る、しかしそれは地道な一步一步の積み重ねが築いたものだ。
がんばりましょう。

日本大会出席の記

北 島 睦

日本大会に際しましては、良き、素晴らし機会をお与え下さいましたこと、心から厚くお礼申し上げます。何とか大任を果して参りました。すぐに大会時の模様など報告いたさなければいけないと思ひましたが、忙しく日を送つて居りまして失礼いたしておりますのでお許し下さい。レオントードのためと思ひまして出席しました青年分科会、委員会の結果を簡単ですが、室蘭から参加されたFino山田と相談の結果まとめてみましたのでお送りいたします。また青年組織を結成するために、S-roj 村木、影浦が21, 22日そちらの方にお伺いすることになりましたので、その折同行させていただいて、大会参加で得たことですこしでもお役に立ちたいと考えております。

お礼のみ申し上げます。

一昨年の大会参加以来毎年参加したいと思つていたが、昨年は、初めて苫小牧でH.E.L. 大会を主催し、そのあと始末ともいふべきレオントードの発行と重なつたため断念を余儀なくされたので、今年こそはと、早くから、参加申

し込みをしたものの今年度は職場の都合で参加不能の状態になり、あきらめていたところに、準備委員会の S-ro 宮本から「50回を記念して各地方会代表から挨拶をいただくことになっているが、H.E.L. からだけ通知がないので、できることなら H.E.L. の同意を得て挨拶をしてほしい。」という速達が舞い込んだので、あきらめていたけれどもかくと、職場の上司に相談した結果、1週間という期限付きで休暇が許可されたので、委員長に同意を得ることと挨拶文をいただくことを早速 S-ro 早川をわずらわしてお願いし、22日夜おそく挨拶文を手にし、翌日機上の人となつて大阪までとんだ。

開会式の模様などについては S-ro 星田が書くだろうと思うが、ただでさえ暑期中を開会式中壇上で強いライトにてらされてますます暑く、大会に参加するために出発前に山積する仕事を片付けるためにビツチを上げ更に夜勤をしたりしたので、挨拶する前にもういささかつかれ気味、加えて北海道は一番先という不利(?)な条件のもとに挨拶するということは、いかに心臓の強い持主といえども涼しい顔で挨拶するということは至難な技に近いものであつたが、何とかその役目を果し得たことは、おそらく生涯の良き思い出として私の胸に残るであろうと思う。こういう機会を与えて下さつた H.E.L. の皆様はこの誌上をかりて心からお礼申し上げます。

急な参加のため、大会中の分科会出席について何も計画を持たないで出かけて行つたが、できるだけ有効に、講義なども聞いてとだけは考えていたが、たまたま誘われるまゝに、委員でもないのに J.E.J.O 委員会に顔を出したばかりに分科会も青年分科会に出席し今年が青年の年であるというのにふさわしく(?)したのでその結果を簡単に報告し、またこの時得たことを北海道で青年組織を設立する上にすこしでも役に立ち得るとしたら幸いである。

◎ J. E. J. O Komitato

Muroran Guju Jamada
Tomakomai Hitomi Kitabatake

24日午後8時すぎから、宿舍の服部緑地ユースホステルで J.E.J.O 委員会に出席(出席者14名、うち女3名)、自己紹介ののち議事に入り、事務局長から過去1年間における運動報告(別記のとおり)があつたが、これによる

と北海道もすでに青年組織がつくられているように報告されているので、北海道における現状を報告した。他の地方については、すでに組織化されているので、北海道については設立方を強く要請された。次いで会計報告がされた。

その後青年組織をつくつた理由、J.E.L.S (Iapana Esperantista Ligo de Studentoj) との関係、その将来について質問があり、委員長は世界大会出席のため外国旅行中で不在のため、計画当初からの参画者である事務局長から説明があつた。こゝでユースホステルの消燈時間が1時間経過しているので、男性だけで寢室で就行。

◎ Junulara fakkunsido

25日午前9時からの予定が、ユースホステルからのバスが1時間余遅れたため、10時から開会、議長にS-ro 青山(東京)を選出して議事に入る。

事務局長から、昨夜の委員会の結果報告

- 3月に1度の割合でOrganonを発行したいので、地方会活動報告を毎月1度、原稿の提出方を要請。
- J.E.L.S. に提携方を要請する(合宿、大会時などに)。
- T.E.J.O. (Tutmonda Esperantista Junulara Organizo)

Kongreso の招致について

昨夜の委員会の結果(男性のみ)は Aprobi5. Kontraŭ3. neopinu3 である。

招致するとすれば、今年の例もあり、世界大会の会場とは別に場所を考えなければならぬ。今のところ考えられるのは、Hotelo de Oomoto (亀岡) がよいのではないか。期間は1週間。

これについての話し合いは、時間の関係で話し合いはなされなかつたが、各地方会の活動をより活発化して、招致に向つて努力すべきであると考えられる。

(注) 本年のT.E.J.O. Kongreso は、世界大会前1週間 Bulgario の Vraca で行なわれた。

- 役員について

Prezidauto に S-ro 梅田(亀岡を再選)、Vicprezidautoj に S-

roj 鷗ノ木（北九州、再選）、竹内（京都）に決定。

- 地方会の報告では、T.E.J.A. (Tokia Esperantista Junulara Asocio 会員数 45 (会費納入者のみ))。の活動報告の中で注目すべきことがあつた。それは、昨年中に3度 studkunsido を持つたということである。これは世界大会にそなえて、身近かなものを知ろうということで、例えば、東京都の生いたちという Temo で担当者を決め、調査、研究は勿論のこと kunsido の際の質問にも応ずるといふ方法である。これは、われわれ北海道アノイに必要なことだと考える。おそらく世界大会終了後北海道を訪れる Samideano も多くいることと思つるので、それらの案内のため、あるいは、本年 H.E.L. 大会で提案のあつた観光案内書の作成にも役立つものと思われるので、次の合宿の折にでも試みてはいかだらうか。

また、北九州地方では、青年独自の大会、合宿をもつてゐる。会員数 60 人。

INVITO de S-ro Miyamoto

La 5an, aug., 1963.

Kara amikino,

Ni nun suferas por elekti taŭgan junulinon, kiu salutos en la nomo de Hokkaido-Ligo en la kongreso. Tio daŭru nur du minutojn kaj por tio vi povas prepari antaŭ tekston kun konsento de HEL. Legu simple kaj tio sufiĉas. Ĉu vi ne volus preni sur vin la taskon? Mi petas ke vi konsiligu al S-ro Hosida, kaj mi pensas, ke li eble por tio skribos leŭteron al HEL. Jam aliaj distriktoj sin anoncis por tio. Restas nur via Ligo. En la saluto vi ne bezonas multe paroli nek raporti pri la movodo. Sufiĉas nur: Ni ĝojas veni al la kongreso kaj je la nomo de HEL mi saluttas, aŭ simile. Ne zorgu multe, ĉar salutantinoj el aliaj distriktoj estos ne pli bona aŭ bela ol vi. 'Via み や も と

Saluto de nia reprezentino

Estimataj kaj karaj gesamideanoj !

Mia nomo estas Kitabatake Hitomi el Tomakomai. Mi ekflugis el Hokkajdo por partopreni tiun ĉi memorindan kongreson. Mi estas tre ĝoja kaj honorinda saluti vin en la nomo de Hokkajdo Esperantista Ligo.

En la komenco de tiu ĉi monato oni okazigis la 27an kongreson de Hokkajdo esperantistoj en Otaru kaj 40 gekunvenantoj pasigis gajan tempon ĉe Sikutu marbordo.

Mi petas, ke vi bonkore akceptu min amike kaj samideane en tiu ĉi esperantujo.

Estu glora kaj sukcesplena la ora jubileo de Japana Esperanto-Kongreso !

Ne Mortis Polpo

Originala verkisto
Saktaro Hagiura

Dum longatempo, malsata polpo vivis en akvujo de iu akvario. Ĉiam malĝoje ŝvebis de glacia plafono pala, kie estis malhele sub subtera roko. Ĉiuj homoj estis forgesintaj la malhelatan akvujojn. Oni supozis, ke jam antaŭlonge mortis la polpo. Kaj ĉiam nur putra marakvo staris en la akvujo kun glaciafenestro en polveca sunradio. Tamen nemortis la vivaĵo. La polpo vivadis sin kasiante malantaŭ larokoj, kaj kiam li vekigis tie, li devis toleri teruran malgaton dum multaj tagoj, en la forgesita malfeliĉa akvujo. Nenie troviĝis kaptiĝoj. kiam tutemankis mangaĵoj, li deŝirinte

mang[^]is siajn gambojn. Unue li mang[^]is unugambon. Sekvante alian gambon, kaj fine kiam la gamboj neniig[^]is, li ekman[^]gis la parton de sia internaĵoj, transturnante sian korpon. Iom post iom, unu parton post alian, laŭvice. Tiel la polpo tute mang[^]is sian korpon, eksterh[^]aiton, encefalon, kaj ankaŭ stomakon, kiun ajn, nenion postlasante li mang[^]is,..... Ĉiom.

En iu mateno, kiam hazarde gardisto venis tien, la akvujo estis malplena. Nur, movadis sveltaĵoj marherboj kaj indigob-lua salakvo transpara en la polveca malpura glaco. Jam nenie oni povis trovi figuron de viva ĵo. Efektive, la polpo estis tute malaperinta. Tamen, la polpo ne mortis. Ekpost lia malapero, Plue li eterne vivadis tie, en la malnova, malplena kaj forgesita akvujo de la akvario.

Eterne kredeble tra kelkaj jarcentoj vivadis la vivaĵo, kiuhavis terurmankon kaj malkontenton, kiun homaj okuloj nepovis vidi.

萩原 朔太郎の詩集「宿命」から実験的にtraduki したものです。原文も書添えることにします。これについての意見が寄せられれば幸いです。

死 な な い 蛸

萩 原 朔 太 郎

或る水族館の水槽の中で、ひさしい間、飢えた蛸が飼われていた。地下の薄暗い岩の影で、青ざめた玻璃天井の光線が、いつも悲しげに漂っていた。もう久しい以前に、蛸は死んだと思われていた。そして彼が目覚めた時、不幸な、忘れられた水槽の中で、幾日も幾日も、おそろしい飢饉を忍ばねばならなかつた。どこにも餌食がなく、食物が全く尽きてしまつた時、彼は自分の足をもいで食つた。まずその一本を。それから次の一本を。それから最後に、それがすつかりおしまいになつた時、今度は胴を裏がえして、内臓の一部を食いはじめた。少しづつ他の一部から一部へと。順々に。かくて蛸は、彼

の身体全体を食いつくしてしまつた。外皮から、脳髓から、胃袋から。どこもかしこも、すべて残る隙なく。完全に。

或る朝、ふと番人がそこに来た時、水槽の中は空っぽになつていた。曇つた埃っぽい硝子の中で、藍色の透き通つた潮水と、なよなよした海藻とが動いていた。そしてどこの岩の隅々にも、もはや生物の姿は見えなかつた。鱈は實際に、すつかり消滅してしまつたのである。けれども鱈は死ななかつた。彼が消えてしまつた後ですらも、尙お且つ永遠にそこに生きていた。古ぼけた、空っぽの。忘れられた水族館の槽の中で。永遠に——おそらくは幾世紀の間を通じて——或る物すごい欠乏と不満をもつた、人の目に見えない動物が生きていた。

苦小牧エス会

影 浦 英 明

ワイズ夫妻来道

かねて、貝沼氏から連絡のワイズ夫妻が10月4日空路千才に着かれ、5日間にわたり、道内をまわり、各地エスペラントと交款、私達の活動をinstigされた。

主たる日程は次のようである。

- 10月4日 千才着 札幌のKunsido に出席、吉原氏宅宿泊
- 10月5日 小樽着、三馬ゴム、三輪商事見学、小樽医師会館にて小樽 ancj と kunsido 北海ホテル宿泊
- 10月6日 札幌着、ロータリークラブに参会、札幌市内見学、吉原氏宅宿泊
- 10月7日 苦小牧着、登別をへて洞爺に宿泊
- 10月8日 函館をへて東北へ

エスペラント段位一覧表

九州エスペラント連盟

		必 読 文 献	自己テスト基準	無条件交付資格者
初 級	6 級	三宅氏「初級読本」又は小坂氏「講習用書」 小坂「エスペラント捷経」 又は。大島「エスペラント四週間」	模範文を参考に、辞書をひき国際文通の出来る人	初等講習終了者で連盟加入の者
	5 級	EKZERCARO, エスペラント作文の教室 La Teksto Dua. やさしいエスペラントの読物 。エスペラントの父「ザメンホフ」。Revuo Orienta	エスペラントで自己紹介が出来、簡単な問いに答え得る人、R.O. 誌の作文の手ほどき (-21 ~ -25)	
	4 級	KARLO, 50 Fabeloj de EZOPO, Privilegia Vojo, 。日エス会話練習帖、エスペラントの歴史 (E. プリバー著。朝比賀訳)	迷子にならぬ程度の簡単なエス会話が出来る人 作文の手ほどき (-16 ~ -20)	学会初等試験合格者 弁論大会入賞者 (九州)
中 級	3 級	Zamenhofa Legolibro, 前置詞略解 アンデルセン童話 1 。Cina Antologio.	例会・大会などで話されているエスペラントが大体判る人 作文の手ほどき (-11 ~ -15)	弁論大会入賞者 (日本)
	2 級	Fundamenta krestomatio, ホン誤実験室 アンデルセン童話 2 。Taglibro de Anne Franke.	松葉氏の Parolado が全部理解出来、自分の意志表示がある程度出来る人 作文の手ほどき (-6 ~ -10)	

注。印は副読本、必読ではないがなるべく読んでよい本、訂正「学

級	1 級	Plena gramatiko, vivo de Zamenhof, Historio de la lingvo Esperanto. o kredu min, Sinjorino.	キング氏の話、ウースター女史の講演が全部理解出来る人。 作文の手ほどき (0 ~ 5)	学会高等試験合格者
	初 段	Originala Verkaro de Zamenhof. Retoriko. Lingvo kaj vivo Esprimoj de sentoj en Esperanto	o 1 分間 115 vortoj の速度で読んでいるのを聞いて理解出来る一方本人も 1 分間 100 vortoj の速度で読める事 (まちがいはなく) o 外国同志の講演を通訳する。 o エスペラントだけの討論に耐えられる人。	20 年以上の Esp 歴を持つている人。
級	2 段	Zamenhofs Esperanto, Proverbaro Esperanta Esperanta Antologio, Eseoj 1. Lingvo, stilo, Formo.	国際的な雑誌にエス文投稿者	30 年以上の Esp 歴を持つている人
	3 段	M. Boulton: Zamenhof P. Estojan: Bibliografio de internacia lingvo. W. E. Collinson: Enkonduko en la lingvo sciencon. P. Neergaard: Fremdvertoj en Esperanto. Hamlet, Cezaro, Otelo.	エスペラント小説を日本語の小説を読む速度で読める人	40 年以上の Esp 歴を持つている人
	4 段		国際免許状試験合格者	
	5 段			Esp 本の著者

力テスト」とあるは「自己テスト」と訂正ねがいます。

Oomoto ウースター夫人来道記について

苦小牧 北 島 隆

私が書いたウースター夫人同行記中の一部と、夫人がOomotoに書かれた旅行記中の一部に少しばかりくい違つたところがありますので、その事について一寸書いてみます。

私とFinoがウースター夫人を案内していつた登別温泉四方嶺頂上で出あつたS-ro加藤信之は、主として私共とは日本語で、夫人とは英語で話しました。10年前程、彼が高校生のころ小樽でエスベラントをすこし置き、卒業後名古屋に就職し、のち北海道に転勤になつたとのことです。おそらく小樽の方で彼のnomoを知っている方がいらつしやると思いますが、彼が日本語で話しましたので私共のきき違いということはないと思います。Oomotoから夫人の旅行記が転載されておりましたので書きそえます。私共もOomotoの購読会員で、すでにその記事を読みましたし、また、由仁のS-ro新田からも内容のちがいについて指摘を受けました。参考までに彼の住所は「札幌郡広島村字輪厚276」です。

どなたか私のアドレスをPACO誌に送つて下さつたとみえて、昨年末からずいぶんたくさんの文通希望の手紙を受けとり、その消化に鋭意つとめてみましたが、手がまわらずにおります。どなたか助けていただければ幸いです。御一報下されば、手元に来ております手紙あるいはハガキを送ります。よろしくお願ひいたします。

S-ro Frantisek Monhart, Rokycany 795/11 Českoslovakio

Limbindo が送られて来ております。1964年の東京オリンピックの宣伝用のピラ等が希望です。その外ラジオ、テレビなどのカタログも希望しています。コメントアットと書いてありますが間違ひはほとんどみうけられない文章を書いております。

Fino Jaraka Dvcháčkova, Svitavy Lanškrounská 36, Českoslo-
vakio

22才の事務員で、日本人の生活について文通を希望しています。

(Al mi ŝajnas, ke ŝi estas Komencanto de nia lingvo)

S-ro Fancsai Sandor, Szechenyi strato 19, Szolnko, Hunga-
rujo.

日本人が漢字、平仮名、片仮名を使っているという事を知っています。平
仮名や片仮名は、封筒の宛名には使わない、などかなり知っているようです。
日本語で説明のある絵葉書や封筒などを集めたい希望があります。

S-ro Toth Laszlo, Dedrecen Bajcsi Zs, u, 35 - 37, Hungarujó.

61才の恩給受給生活者で40年来のエスペラント、15才の娘(高校1年
生)と10才の息子(小学校4年)の父

職業別道内エスペランチスト名簿

○印は長年運動継続表彰者

学	校		
山崎久蔵		札幌藤学園女子大学	
宮原将平		北大理学部 物理学	教授
東三郎		北大農学部	
高木貞夫		北大文学部昆虫学教室	
西里静彦		北大文学部心理学教室	(外国留学中)
河野広道		北海道学芸大学(札幌)	
仁保武玄		北大水産学部(函館)	
追分		小樽市汐陵高校	
岩水		小樽市千秋高校	
田辺至		留萌市留萌高校	
中林邦夫		旭川市龍谷学園高校	

加藤道子	厚真高等学校	
青木スミ		
細井米夫	山越郡八雲町八雲高校	
戸田幸子	苫小牧市苫小牧東高校	
林井久次	滝川市江陵中学校	
塩谷登	勇払郡穂別町穂別中学校	
高橋斗星	岩内郡共和村前田中学校	校長
伊藤静致	北見市北見北小学校	
高橋達治	小樽海員学校	
早川界	小樽市立図書館	
因藤幸子	虻田郡京極町協方小学校	
岡本義雄	滝川市滝川第一小学校	校長

公務員

葛西藤三郎	札幌労働基準監督署	→ 兼殿(1965.)	所長
児玉広夫	空知支庁(岩見沢市)		
新田為男	夕張郡由仁町役場		収入役
藤井沢司	岩見沢 空知支庁		
川崎英三	室蘭市母恋郵便局		
前田幸一	小樽海運局		
佐藤実	札幌郵政局?		

鉄道, 陸運

藤原信吉	青函船舶鉄道管理局
酒井幸枝	室蘭陸運事務所
須藤昭三	室蘭市東室蘭駅
浜田国貞	室蘭市東室蘭駅(第3運転室)
相沢治雄	定山溪鉄道 藤ノ沢駅長

会 社

- アリマヨシハル 札幌 エコンスチール K.K.
- 高橋 要一 札幌平野荷札
- 滝 和美 札幌味の素(南2西3)
- 大川 健治 札幌富士電機
- 吉田 栄 函館 北海道乳業
- 佐藤 不二雄 小樽 宏栄社化学研究所
- 横山 小樽 商工信金南支店長
- 平田 岩雄 室蘭 日本製鋼所
- 佐々木 実 室蘭 富士製鉄
- 猪股 嘉治 江別 北海製紙
- 星田 淳 苫小牧 王子製紙
- 沼田 芳藏 釧路 三ツ輪商会
- 池島 与三吉 札幌 拓銀本店
- 武田 二郎 岩見沢 商工会議所
- 永田 明子 札幌 ライオンズクラブ事務所

医 薬

- 山賀 勇 小樽市花園町(開業・眼科)
- スズキマサハル 市立札幌病院 整形外科
- 藤田 一郎 栗山赤十字病院 内科
- 塚原 伸司 札幌医大 眼科 医局長
- 由良 悦子 夕張郡長沼町 町立病院
- 大場 美智子 札幌鉄道病院
- 佐々木 健 みかほ薬局 (札幌) 薬剤師
- 沼 差知子 苫小牧保健所

新 聞, 報 道

- 松本 華子 毎日新聞
- 後藤 義治 北海道新聞

森 本 三 郎 北海道新聞
 木 村 喜 壬 治 N H K (札幌)

記 者
 総務部長

自由業・自営・無職

吉 原 正八郎	札幌市南1西12	弁護士
一。平 野 長 克	札幌市北大通西9	
。江 口 音 吉	小樽市奥沢町4	薬 店
。三 田 智 大	士別市西1条10丁目	無 職
。小田島 榮	上磯郡上磯町	
。高 瀬 正 栄	旭川市 藤学園高校	
。東 隆	民社党 前参議院議員	
。坂 下 清 一	東京へ転居	
。鶴 近 庄次郎	札幌北16東19号	
。脇 坂 圭 治	小樽 (死去)	
土 田 虎 幸	小樽	
山 本 昭二郎	小樽	

HEL 佐田 昭二郎
 入会年記考所記、件